

令和7年度

長後地区郷土づくり推進会議全体集会

# 長後住民サミット

# 2025

議事録

2025年（令和7年）12月6日（土）

長後市民センター 3階 ホール

—開 会—

○司会（小屋原副議長）

皆様、こんにちは。

定刻となりましたので、ただいまから令和7年度長後住民サミットを開会いたします。

本日の進行を務めさせていただきます郷土づくり推進会議の小屋原と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず、皆様のお手元にお配りした資料につきまして確認をさせていただきます。封筒の中の資料をご覧ください。

1. 本日の次第
2. 「郷土づくり推進会議の取組」と題した資料
3. 「長後の良いところを教えてください！」という用紙

3の用紙はバインダーにつけてお配りしておりますが、こちらは第2部で使いたいので、皆さんが思う長後の良いところをご記入ください。風景、歴史などジャンルは問いません。長後あるあるや、自慢や知ってほしいことなどどんな内容でも構いません。第1部終了後の休憩までにご記入をお願いします。資料は以上になりますが、よろしいでしょうか。

では、次第をご覧ください。本日は、その次第に沿って進めてまいります。次第にございますように、本日の全体集会は2部制となっております。

第1部は、郷土づくり推進会議の取組について、次のとおりご説明させていただきます。

- (1) 地域人材発掘・育成事業部会（山田部会長より）
- (2) 観光・歴史資源開拓事業部会（宮杜部会長より）
- (3) 活性化部会（久保田部会長より）
- (4) その他の取組状況について（井上議長より）

第1部の質疑やご意見につきましては、(1)から(4)までの報告が終わりましたら一括してお受けいたします。

若干の休憩をはさみした後、第2部は『長後の良いところを語ろう！』と題しまして、本日お集まりいただいた皆様とフリートークで盛り上がりたいたいと思っております。

携帯電話等はマナーモードに設定いただきますようお願いいたします。

それでは、これより開会いたします。開会にあたりまして、長後地区郷土づくり推進会議の寺本副議長より開会のことばを申し上げます。

○寺本副議長（長後地区郷土づくり推進会議）

皆様、本日は寒い中、また年末の大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の全体集会は長後地区郷土づくり推進会議の約2年間にわたります活動の報告と、そして長後の良さを皆で語り合う場です。それでは、サミット2025の開催を申し上げます。よろしく願いいたします。

○司会（小屋原副議長）

続きまして、長後地区郷土づくり推進会議を代表して、井上議長からごあいさつを申し上げます。

—議長あいさつ—

○井上議長（長後地区郷土づくり推進会議）

長後地区郷土づくり推進会議の議長を務めております、井上と申します。本日は寒い中、また年末に向けてお忙しいところご参加いただきありがとうございます。

我々郷土づくり推進会議では長後地区の住民の皆さんとともに地域づくりを主体的に進めることが出来るよう、地域の皆様の意見を集約し課題を把握した上で課題解決に向けた検討を行っております。

例年、全体集会として郷土づくり推進会議の取り組みをご紹介する場を設けており、本日はこれを第1部で行います。さらに、本年は第2部にて『長後住民サミット』と題しまして、皆様とよりよい長後地区にするために語り合いたいと考えております。

本日まで出席されている皆様は、長後をいいところと認識されている方々だと思います。このいいところに注目して、ポジティブ思考でさらによいところを目指し伸ばしていけたらいいのではないかなと思っております。先ほど司会からもお話ししたとおり、2部が始まるまでにお手元の紙に長後のいいところを書いていただけたらと思います。それをもとに2部を進めていきます。趣旨を

ご理解いただきまして、これからのひとときをどうぞよろしく願いいたします。

○司会（小屋原副議長）

井上議長ありがとうございました。

ここで、郷土づくり推進会議の委員の紹介をさせていただきます。委員は、名前を呼ばれましたらご起立ください。

井上議長 寺本副議長 山田部会長 宮杜部会長 久保田部会長  
佐藤委員 石野委員 青木委員 大塚委員 山口委員 薩田委員  
浅野委員 伊澤委員  
本日欠席の委員は、小笠原委員 中嶋委員 横山委員 新海委員  
でございます。

また、本日は事務局として長後市民センターの職員が出席しておりますことをご報告いたします。

### －議題－

○司会（小屋原副議長）

それでは、「長後住民サミット2025」第1部 郷土づくり推進会議の取組についての説明に入ります。質疑につきましては、第1部の報告が終わった後にまとめて受け付けますので、ご了承ください。質疑応答の際、質問される方は、必ずマイクを使用いただき、大きな声でお願いいたします。

### －第1部 長後地域活性化事業について－

長後地区郷土づくり推進会議では、部会の事業を重点において活動しております。令和6年度には既存の2つの部会に加え「活性化部会」を発足させ、計3つの部会で長後地区の活性化に向け、検討し事業を行っております。新しい「活性化部会」は、長後地区内の道路等の危険箇所解消に向けた取組というハード面と、長後を元気にする取組というソフト面で何ができるか検討をしています。

それでは、まずは各部会について各部会長から、続いてその他の取組事業について議長から説明を始めます。

(1) 地域人材発掘・育成事業部会より取組状況について（山田部会長）

地域人材発掘・育成事業部会では、地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成といった課題解決に取り組んでおります。

主に、地域活動・ボランティア活動に係る情報交換の場をつくり、調査研究を行っています。2024年9月には、ボランティア同士がつながることを目的とした「ボランティア交流会」を開催し、参加したボランティア団体が、それぞれの活動内容や課題などを話し合い意見交換を行いました。

それをもとに、2025年2月23日（日）には「第3回長後ボランティアまつり」を開催しました。このボランティアまつりでは、それぞれのボランティア団体が、団体を紹介するブースを出展し、来場された方々にはスタンプラリーで会場内を回ってもらうなどの工夫をこらし、様々なボランティア活動を知ってもらいました。それぞれの特色を生かしたブースで、参加者の皆さんに『楽しみながらボランティアを知ってもらう』ことができました。

スタンプラリーでスタンプを集めた方には、ふじキュン♡缶バッジをプレゼントするという取組は若い方や子ども達にも大変好評でした。外会場では、モルックや輪投げなどの遊び体験もあり、また商店街のご協力による模擬店やキッチンカーもあって、おまつりを盛り上げていただきました。また、会場での体験だけでなく、ボランティア団体の活動を知ってもらうための取組として、「団体紹介カード」を作成して、来場者に配布しました。こちらの映像は当日のイベント会場の様子です。300人近い方が来場されました。

次回は2026年3月14日（土）に『第4回長後ボランティアまつり』を開催予定で、現在、開催に向けて実行委員会を立ち上げ準備をしているところです。ぜひ足をお運びいただけたらと思います。

次に機関紙「つなぐ」のご紹介です。機関紙「つなぐ」は地域の皆様に対してボランティア団体を紹介し、多くの方に興味を持ってもらうことや、活動に参加してもらうことを目的として発行しています。

こちらの映像は、令和6年3月10日に発行した第5号で、第2回長後ボランティアまつりの内容を掲載しております。続いて、令和7年1月25日に発行した第6号には、ボランティア交流会の内容を掲載しております。最

後に、令和7年8月10日に発行した第7号です。こちらには『第3回長後ボランティアまつり』の内容を掲載いたしました。

地域人材発掘・育成事業部会より取組状況についての報告は以上です。

(2) 観光・歴史資源開拓事業部会より取組状況について（宮杜部会長）

観光・歴史資源開拓事業部会では、長後の活性化を観光面や歴史資源の開拓から行っています。

長後は歴史ある街なので、名所や旧跡が多く残っており、各所へ歴史解説板を設置しています。平成29年から毎年設置を行い、現在26か所に歴史解説板を設置しました。解説板には歴史的背景や説明を載せ、これを設置することで、長後地区の皆様は長後の歴史を知っていただくという活動です。

また、毎年8月には、郷土歴史課から講師を招いて長後の歴史に触れる『長後歴史講演会』を開催しています。令和7年度は長後の遺跡についての講演会を行い、約60人の参加がありました。映像はそのときの様子です。令和6年10月には、これまでに設置した解説板をめぐりながら長後地区を歩く「長後歴史ウォーキング」を実施しました。こちらも好評でしたが、令和7年度は残念ながら荒天により中止となりました。

身近なところに名所や旧跡があるという歴史を知ってもらい、長後地区に愛着を持ち、住み続けたいと思うまちになるよう、イベントの内容を毎年視点を変えて検討しています。

また、今年度は現在配布している「ふるさと観光マップ 長後めぐり」の改訂を行いました。新しく設置した解説板も載せております。本日配布しておりますのでぜひご覧になってください。これを持って長後の街を散策されてみてはいかがでしょうか。

さて、来年1月7日から1月30日まで、第1談話室にて『長後の昔の写真展』を開催いたします。展示する写真は、地域の方から提供されたものや羽根澤屋資料館で保管されていたものです。懐かしい風景や、歴史ある街並みの写真を展示しますのでぜひ足をお運びください。ご案内のチラシを12月10号広報と一緒に回覧します。

観光・歴史資源開拓事業部会からの報告は以上です。

(3) 活性化部会より取組状況について（久保田部会長）

令和6年度から発足した活性化部会では、長後地区の課題にハード面・ソフト面両方それぞれの角度から取り組んでいます。

道路問題は、この地区の大きな課題ですが、危険箇所とされている相模幼稚園近くの交差点の危険回避対策を関係部署と相談した結果、注意喚起看板を付けてもらうことができました。また、通学路の危険箇所の現地確認を行っています。他の団体により横断旗が設置された場所もありますが、少しでも改善できる方法を引き続き探っていきたいと思っています。

またソフト面では、昔長後にあった「長後音頭」を復活することができました。日本民謡協会に出向いて助言をいただき、たくさんの方々のご尽力をいただいたおかげでふるさとまつりで地域の皆さんと踊ることができました。映像は10月18日、19日の長後地区のふるさとまつりの様子です。模擬店、サークル発表、小田急のイベントなど大変盛り上がったふるさとまつりでしたが、長後音頭を披露する場として開会式の中でたくさんの方々とともに踊りました。長後音頭の復活に向けては、古いテープの音源をなんとか再現できないかと、市内で民謡に関わる方々をいろいろなツテをたどって探しました。そして藤沢民謡民舞連合会の方々と繋がることができ、当日は「長後地区のために」とふるさとまつりに駆けつけてくださったおかげで、生演奏で長後音頭を踊ることができました。

また民謡サークルの先生は、お仲間にお声がけくださり、サークルさんだけでなくたくさんのお踊り手の方々が一緒に踊ってくださいました。当日来場された市長、議員の皆さまにも一緒に踊っていただきました。後日行われた富士見台小学校の運動会では、先生、児童、保護者の皆さんも、この長後音頭を踊られました。この素晴らしい出会いで復活した長後音頭を今後も広めていきたいと思っています。

続いての映像は、長後地区から見える富士山百景をWEB上で募集してホームページで公開しているものです。

このように、WEBで募集して公開する「長後の風景」を今後も展開していきたいと考えておりますので、どうぞお楽しみにお待ちください。

以上で活性化部会の報告を終わります。

(4) その他の取組状況について（井上議長）

続きまして、部会以外のその他取組事業についてご説明いたします。

健康づくり普及事業

健康づくり普及事業は、地域の専門機関と連携して、地域に根ざした健康づくり事業を推進しています。令和6年度は11月と12月に市民センターのホールで健康講座を開催しました。令和7年度は、内容の違う講座を2回企画しており、11月には、誤嚥性肺炎の基礎知識と予防トレーニングについて、言語聴覚士の方にご講義いただきました。来月12月には家でできる感染対策を講義していただく予定で12月18日に開催いたします。

長後子ども安全ネットワーク事業

次に長後子ども安全ネットワーク事業です。この事業は、学校・家庭・地域がひとつになって、児童生徒が登下校時に安心して通学できるよう、スクールガードリーダーを中心に、ご覧のスライドにあるような様々な団体と協力を図り、子どもを守るネットワークの強化と団体間での情報交換等を行い防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図っております。年1回、情報交換会を開催し、地域ごとの現状や課題について情報共有を行い、児童の登下校の安全について話し合っています。今年度は、年明け3月4日に開催を予定しております。下校途中に災害が起きたら…をテーマに学校の状況、子どもたちや地域の状況について、情報交換を行います。地域の方、学校関係者、地域団体が一堂に会する機会として、それぞれの立場・視点から意見を交換することで、長後の子どもたちの安全につながっています。

長後すくすく応援事業

長後すくすく応援事業は、子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会する長後版の子育てメッセを開催し、子育て世代の親子の仲間づくりと子育てに役立つ情報の提供、イベントコーナーなど、地域で子育てを支援していくものでございます。毎年6月と11月に開催しております。現代のニーズに合わせて工夫しながら多くの子育て世代の方の役に立つよう、取り組んでおります。

映像は令和6年度の様子です。近年人気のハイハイレースを初めて取り入れたところ、親御さんに大変好評でした。来場者数は、6月は58組117人、11月は69組125人でした。続いて、令和7年の様子です。今年度6月は土曜日に開催しました。34組81人の参加でしたが、土曜日はお父さんも多く来場されました。11月は本館のエレベーター工事と重なったた

め、初めてコミュニティ棟のみで行い、今までホールや和室など分散していた催しを体育室で開催しました。参加人数は42組82人でした。会場をコンパクトにするのは初の試みでしたが、全体が見通せるレイアウトとなり、来場された親子さんに大変好評で、賑やかな雰囲気となりました。

#### ちようご見守りネットワーク事業

次にちようご見守りネットワーク事業についてご説明いたします。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちようご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図る活動をおこなっています。いきいきサポートセンターや関連部署と定期的に会議を開き、毎年ちようご見守りネットワーク通信を発行しています。令和6年度は、事業の推進を図るため、ワークショップを開催しました。令和7年度は、高齢者の困りごとの相談先を一覧にする作業を行っており、最終的にパンフレットのような形にしたいと事業を進めている所です。

#### 花いっぱい運動推進事業

続きまして、花いっぱい運動推進事業についてご説明いたします。

長後の街を花でいっぱいにし、綺麗で明るい街づくりを進めています。具体的な活動としましては、花のボランティア団体の植栽活動の支援をはじめ、花の広場の管理、市民センター北側広場の管理、5月には花フェスタ、6月・11月には長後駅東口ロータリー花壇などの植栽活動の開催、花だよりの発行などを行っています。ボランティア活動や、イベント・植栽活動など、未就学児から小中学校、親御さんやシニア世代まで、花を通じて、多くの方と関わりあることが、花いっぱい運動推進事業の特徴です。

#### 安全・安心ステーション運営事業

安全・安心ステーション運営事業は、防犯情報の共有や情報交換、防犯パトロールなど、地域の防犯活動の拠点施設であります「安全・安心ステーション」の運営に対して支援を行っていましたが、令和6年度中にステーションが入居していた施設が移転したため、当面の間休止となっております。

#### 時事問題講演会

時事問題講演会は、その時の世の中の動きに合わせたテーマを設け、例年秋ごろに開催しています。令和6年度は、「インターネット被害未然防止講座」を開催しました。令和7年度は防災士研修センターに紹介していただいた講師をお呼びして、身近な災害の恐怖や対策を講演していただきました。

転倒防止の機材の展示や紹介もあり、大変有意義な講演会となりました。

### 全体集会

長後地区郷土づくり推進会議では、年1回、長後地区住民の方を対象に、全体集会を行っています。テーマは、長後地区郷土づくり推進会議の活動報告、また、関係部署から長後地区に関する工事などの進捗報告を行っています。映像は令和5年度の様子です。令和6年度からは、事業の進捗を踏まえ、活動報告は行わず次年度に2年間分をまとめて報告することにしました。ただし、地域住民の関心が高い長後地区内に関する工事等の進捗については、関係部署に依頼して報告会を行ってもらうこととし「まちづくり等進捗報告会」として2月1日に開催されました。映像はその時の様子です。

続いての映像は、広報紙「長後まちだより」です。長後地区郷土づくり推進会議では、広報誌「長後まちだより」などを通じて地域の皆様へ活動報告を行っています。

以上でその他の取り組み状況についての説明を終わります。

### ○司会（小屋原副議長）

ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして、ご質問やご意見がある方、いらっしゃいましたらお受けしたいと思っておりますので挙手をお願いします。

（質問・意見等なし）

### ○司会（小屋原副議長）

ご質問等ないようでしたら、このあたりで第1部は終了とさせていただきます。これから会場を第2部のレイアウトに移動をいたしますので、その間休憩といたします。第2部が始まるまでに先ほどお配りした用紙にご記入いただきスタッフにお渡してください。休憩の後、第2部を再開いたします。それでは休憩いたします。

（－休憩の間に会場レイアウトを変更し、輪になって第2部へ－）